

大会名称: **高松宮記念杯 第48回全日本実業団バスケットボール選手権大会**  
**東日本大震災復興支援**

開催場所: **仙台市体育館 Bコート**

試合区分: **No. 79 男子 準決勝**

期 日: **2016(H28)年2月14日(日)**

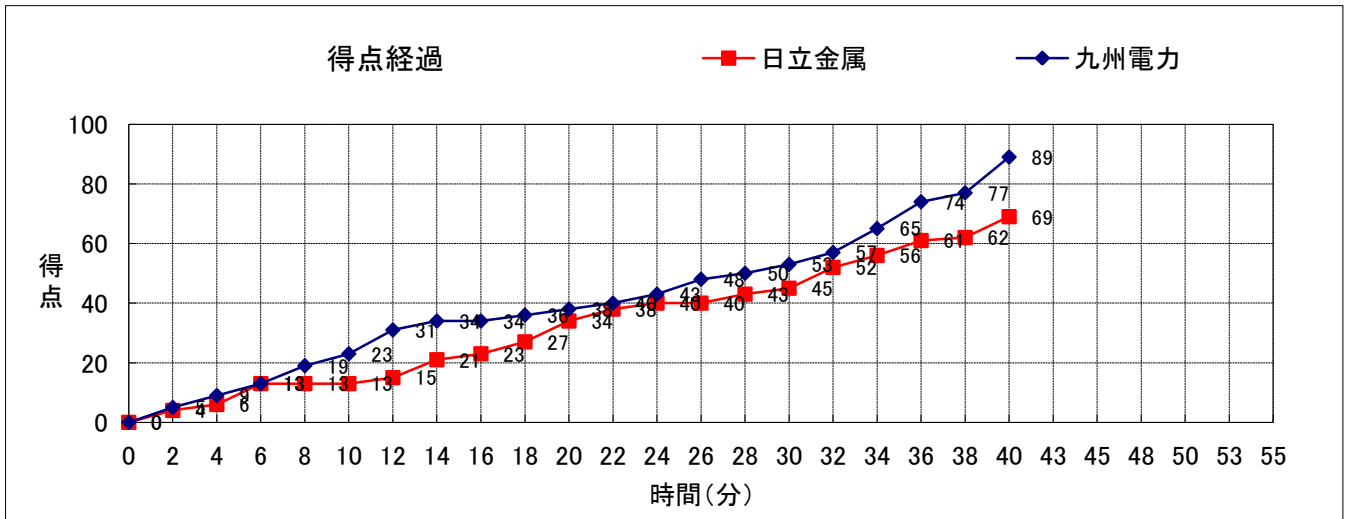
主審: **阿部 聖**

開始時間: **10:00**

副審: **加藤 蒼樹:堀内 昌浩**

九州電力		○		23 — 13		●		日立金属							
(九州1位)		89		15 — 21		69		(関東6位)							
				15 — 11											
				36 — 24											
				—											
				—											
				—											
				—											
				—											
NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	NO.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		松谷 直人	-	-	-	-	-	0		鈴木 恵二	-	-	-	-	-
6		柚木 毅	-	-	-	-	-	1	*	宮城 徹	18	2	5	2	5
8		岡 隆輔	-	-	-	-	-	3	*	宇佐美 勝也	3	1	0	0	5
9	*	田中 喜陽	16	0	5	6	2	7		中村 啓彦	0	0	0	0	0
12	*	織田 秀司	2	0	1	0	2	9		小野寺 充記	0	0	0	0	1
15		賀来 龍矢	-	-	-	-	-	15	*	一戸 誠也	8	0	4	0	0
16		村瀬 敦希	11	3	0	2	2	21	*	村山 勇太	15	2	3	3	4
21	*	毛利 孝志	10	0	4	2	4	24	*	黒田 幸太	4	0	2	0	3
22		伊集 貴也	5	0	1	3	1	34		尾崎 宏次	16	1	4	5	4
24		中深迫 諒太	0	0	0	0	2	91		長友 祐輔	5	1	1	0	1
26		坂本 祐一	-	-	-	-	-								
30		吉満 俊孝	2	0	0	2	0								
33		横山 優王	-	-	-	-	-								
35	*	熊谷 駿	25	3	6	4	2								
40		赤星 雄平	0	0	0	0	3								
45		根岸 豪	-	-	-	-	-								
47		藤田 弘道	-	-	-	-	-								
91	*	酒井 祐典	18	2	4	4	2								
コーチ		山口 健太郎 / TEAM						コーチ		小瀬 真弘 / TEAM					
		合計	89	8	21	23	20			合計	69	7	19	10	23

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル  
 一般社団法人日本実業団バスケットボール連盟



大会名称: **高松宮記念杯 第48回全日本実業団バスケットボール選手権大会  
東日本大震災復興支援**

開催場所: **仙台市体育館 Bコート**

試合区分: **No. 79 男子 準決勝**

期 日: **2016(H28)年2月14日(日)**

主審: **阿部 聖**

開始時間: **10:00**

副審: **加藤 蒼樹:堀内 昌浩**

<b>九州電力</b>  (九州1位)	○ <b>89</b>	23 - 13 15 - 21 15 - 11 36 - 24 — — —	● <b>69</b>	<b>日立金属</b>  (関東6位)
---------------------------	----------------	---	----------------	---------------------------

1Q: 九電ハーフコートマンツーマン、日立はゾーンとマンツーマンのチェンジングディフェンス。日立は#21村山の2Pに加え、#1宮城が3Pを含む4本連続ゴールなどアウトサイドを中心に得点を重ねる。九電は#9田中、#21毛利のインサイド、#35熊谷、#12織田のアウトサイドとバランスのよい攻撃を展開。残り3分、九電#91酒井とのインサイドでの合わせから#21毛利がツースローを決め、19-13となったところで日立がタイムアウト。その後も九電は厳しいディフェンスを継続し日立のターンオーバー、24秒オーバータイムを誘うなど優位にゲームを進める。日立は果敢にゴールへ向かうが高さのあるディフェンスに阻まれ得点につなげられない。リバウンドでも優位に立つ九電は速攻でも得点を重ね、23-13と大きくリードし1Q終了。

2Q: 開始早々、九電#16村瀬が連続3Pに加えオフェンスリバウンドも奪う活躍を見せ、開始2分で一気に16点差に広げる。日立のディフェンスが外角寄りになったところでインサイドの#21毛利にボールを集めるなど九電がゲームの主導権を握る。中盤、日立は九電の厳しいディフェンスを崩しきれず苦しい展開が続くが、#21村山、#34尾崎の3P#15一戸の個人技などで粘り10点差をキープする。残り4分すぎに九電がベンチメンバーを投入したところで日立がディフェンスリバウンドで優位に立ち、#1宮城、#15一戸のワンマンブレイクにつなげるなど勢いを取り戻し、38-34と4点差に迫り前半終了。

3Q: 日立#1宮城、九電#35熊谷がそれぞれ得点に絡む活躍を見せ、序盤は一進一退の攻防。#21毛利のインサイドにボールを集める九電に対し、日立はダブルチームで対抗するが、リバウンドが手薄になったところを九電#9田中がねじ込み残り5分で46-40と6点差に広げる。九電#35熊谷にリバウンドからの速攻を許し、残り4分で48-40となったところで日立はタイムアウトで立て直しを図る。再開後、九電は#35熊谷の早いボール運びからのジャンプショット、#91酒井が3Pを決めると、日立は#1宮城の3Pなどで食らいつき、45-53で3Q終了。

4Q: 九電は#9田中、#21毛利がゴール下で得点を重ねれば、日立は#91長友が3P、ジャンプショットで対抗。点差を維持したまま中盤へ。残り6分、日立#34尾崎がファールをもらいながらハイポストからのドライブをねじ込み6点差としたところで九電がタイムアウト。直後に九電#35熊谷が3P、ドライブからバスケットカウントワンスローを決めるなど、日立に流れを渡さない。残り5分、九電#21毛利が4ファールでベンチに退くが、#35熊谷がフリースロー、3Pを決め、さらに#91酒井の3Pとアウトサイド陣の勢いが止まらず、残り3分で77-61と点差を広げる。後がない日立は、アウトサイドからのショットを狙うが精度が上がらず、九電はファウルゲームのフリースローでも着実に得点を重ね、89-69で試合終了。